

●1年次 履修例

春学期

曜日	月	火	水	木	金	土	集中
1講時						看護管理学 特論 (4~7月)	看護管理学 特別演習 (8~9月)
2講時							
3講時				看護理論 (4~5月)		看護管理学 特講Ⅰ (4~7月) 看護管理学 特講Ⅱ (4~7月)	
4講時							
5講時				看護研究 方法論 (4~5月)			
6講時				看護継続 教育学 (6~7月)			

秋学期

曜日	月	火	水	木	金	土	集中
1講時						看護と経済 または 看護管理学 演習 (9~1月)	
2講時							
3講時						看護政策論 または 看護管理学 特講Ⅲ (10~1月)	看護と法律 (12月)
4講時							
5講時						看護管理学 特講Ⅲ (10~1月)	看護管理 特別演習 (8月)
6講時				看護と環境 (10月)			

## ● 在学生からのメッセージ

現在、日勤と毎月3回程度の夜勤と並行しながら大学生活を送っています。多忙な業務、家庭での役割、そこに大学院での学習が加わることに不安を感じていましたが、職場には業務調整していただき、家族からはこれまで以上の後押しを受けたこと、また、大学院が推進している、昼夜開講制、長期履修制度は働きながら学ぶ意欲を継続して支えてくれています。

小島金美

看護師長の職務に就き10年が経過し、実践を通して看護管理について多くの学びを得ました。その中で、看護管理者として病院経営に参画し、部署運営をおこなうためには、一般的な知識、医療界、看護管理に関する知識が不足していると感じるようになりました。看護管理者としての基盤となる組織変革、リーダーシップ論などを再学習することで、自分自身が実践した看護管理を振り返り、概念化能力を高めることが課題です。また、組織の一員として効果的な役割行動がとれることを目標に入学を決意しました。

高野寿子

全ての授業が印象的です。少人数でのディスカッションが中心で、先生の言葉を覚えるだけの授業ではなく、講義内容と自らの経験とを絡め、自らの考えを整理し、他の学友の意見に新たな見解を見出すという授業スタイルです。ディスカッションが白熱して授業終了時間を忘れ、昼休みの時間で申し訳ないと思ってしまう事も多々あります。看護管理に深く携わっていらっしゃる看護管理者の方が講師をしてくださることはもちろん、多分野の講師の講義が聞けることも、知見を広げ、看護の魅力を再確認できる良い機会になっています。

今井恵子